

1 岩手県教育振興計画

1 策定の趣旨

平成21年度からの県総合計画となる「いわて県民計画」に併せて策定した「岩手の教育振興」が、平成30年度で終了したことに伴い、令和元年度（2019年度）からの新たな教育振興の取組の指針となる「岩手県教育振興計画」を策定した。

2 計画の位置付け

教育基本法第17条第2項に基づき、平成30年6月に策定された国の第3期教育振興基本計画を参酌して地方自治体で策定することが求められている「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として位置付ける。

また、この計画は、いわて県民計画（2019～2028）との整合性を図りながら、今後の教育行政を推進していくうえでの、学校をはじめとした教育関係者等の指針とするものである。

3 計画の期間

2019年度から2023年度までの5年間

4 計画の構成

第1章 岩手の教育をめぐる状況

第2章 目標・取組の視点

第3章 具体的な施策の内容

第1章では、岩手の教育の歩み、教育をめぐる社会の変化について概括的に延べ、岩手県の教育の現状と課題について、「学校教育」と「社会教育・家庭教育」の2つの柱で総論を記述している。

第2章では、計画の目標を定め、その目標を実現していくうえで、県民、教育関係者等が一体となって取り組んでいく岩手の教育振興の考え方及びその取組の視点等を示している。

第3章では、今後5年間に実施する12の具体的な施策の内容を、「学校教育」と「社会教育・家庭教育」の2つの政策分野を柱として、それぞれ「現状と課題」、「目指す姿」、「目指す姿を実現するための取組の方向性」、「取組にあたっての役割分担」、「具体的な推進方策」を示している。

※岩手県教育振興計画

https://www.pref.iwate.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/018/748/h31kyouikushinkoukeikaku4.pdf



計画期間		2019年度～2023年度までの5年間	
【第1章】岩手の教育をめぐる状況			
1	岩手の教育の歩み	・ 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行 ・ 教育振興運動や「いわて教育の日」などの取組の推進 ・ 学習定着度状況調査による「わかる授業」の実践 ・ 県立美術館、県立図書館の整備等 ・ 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催 ・ 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山の世界遺産登録	
2	社会状況の変化	・ 人口減少・少子化・高齢化の進行 ・ 急速な技術革新やグローバル化の進展 ・ 子どもを取り巻く社会経済的な課題の表面化 ・ 地域間格差の拡大 ・ 東日本大震災津波からの復旧・復興	
3	岩手県の教育の現状と課題	学校教育 ○ 子どもたちをめぐる課題 ・ 授業力の向上や家庭学習の定着 ・ 情報社会に主体的に対応する力の育成 ・ 運動習慣の定着 ・ 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導 ・ いじめへの適切な対応 ・ 問題行動等の未然防止、早期発見・適切な対応 ○ 教職員のスキルの継承と負担の増加 ○ 働き方改革による「チームとしての学校」の推進 ○ 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境 ・ 大学入試制度改革への対応 ・ 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実 ○ 学校の統廃合や施設の老朽化 ・ 教育の質の保証と学び機会の保障 社会教育・家庭教育 ○ 家庭の状況変化 ・ 社会全体での教育力の向上 ○ 地域コミュニティの変化 ・ 教育振興運動や生涯学習による地域コミュニティの維持向上 ○ 人生100年時代の到来 ・ 生涯にわたって学び続けられる環境づくり ○ 文化芸術・スポーツへの関心の高まり ・ 文化芸術やスポーツの推進と地域への愛着の醸成	

【第2章】目標・取組の視点		学びと絆で 夢と未来を拓き 社会を創造する人づくり	
基本目標		社会教育・家庭教育	
目指す姿		学校教育	
子どもたちが、地域とともにある学校において自ら生き生きと学び、夢を持ち、それぞれの人間形成と自己実現に向けて知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身に付けています。		県民が、主体的・相互的に連携し、助け合うことにより、家庭の教育力の向上に努めるとともに、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加により、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活しています。	
取組の視点 視点1 岩手だからこそできる教育、やるべき教育の推進 視点2 郷土に誇りと愛着を持つ心を育み、岩手で、世界で活躍する人材を育成 視点3 学びの場の復興の更なる推進		【第3章】具体的な施策の内容	
学校教育		社会教育・家庭教育	
1 岩手で、世界で活躍する人材の育成 - 復興教育の推進、地域に貢献する教育の推進、キャリア教育の推進、世界と岩手をつなぐ人材育成、イノベーションを創出する人材育成 等 2 確かな学力の育成 - これからの社会で活躍する資質・能力の育成、児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実、生徒の進路実現の推進 等 3 豊かな心の育成 - 自他の生命を大切に、他者の人権を尊重する心の育成、体験活動等を通じた豊かな心の育成、学校における文化芸術教育の推進、社会に参画する力の育成 等 4 健やかな体の育成 - 豊かなスポーツライフに向けた学校教育の充実、適切な部活動体制の推進、健康教育の充実 等 5 特別支援教育の推進 - 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実、特別支援教育の多様なニーズへの対応、県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進、教職員の専門性の向上 等 6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応 - いじめ防止対策の推進、いじめ事案への適切な対応、不登校対策の推進、健全育成に向けた対策、組織的な相談体制の充実 等 7 学びの基盤づくり - 安心して学べる環境づくり、目標達成型学校経営、新たな県立高等学校再編計画の推進、多様なニーズへの対応、教職員の確保・育成、教職員の働き方改革 等 8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進 - 特色ある教育活動の支援、社会に貢献する人材の育成、教育環境の整備促進 等		9 学校と家庭・地域との協働の推進 - 学校・家庭・地域が連携する仕組みづくり、多様な体験活動の充実、地域学校協働活動の推進 等 10 子育て支援や家庭教育支援の充実 - 子育てや家庭教育に関する学習活動支援、電話やメール等による相談体制の充実、子育て支援グループのネットワークづくり 等 11 生涯にわたって学び続ける環境づくり - 多様な学習機会の充実、学びと活動の循環による地域の活性化、社会教育の中核を担う人材の養成・確保と研修の充実 等 12 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承 - 学校における特別活動や文化部活動による郷土芸能の継承、文化財の適切な保存と継承 等	

1 岩手の教育の歩み

- 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行
- 教育振興運動や「いわて教育の日」などの取組の推進
- 学習定着度調査による「わかる授業」の実践
- 県立美術館、県立図書館の整備等
- 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催
- 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山の世界遺産登録

2 社会状況の変化

- 人口減少・少子化・高齢化の進行
- 急速な技術革新やグローバル化の進展
- 子どもを取り巻く社会的な課題の表面化
- 地域間格差の拡大
- 東日本大震災津波からの復旧・復興

3 岩手県の教育の現状と課題

学校教育

- 子どもたちをめぐる課題
 - 授業力の向上や家庭学習の定着
 - 情報社会に主体的に対応する力の育成
 - 運動習慣の定着
 - 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導
 - いじめへの適切な対応
 - 問題行動等の未然防止、早期発見・適切な対応
- 教職員のスキル継承と負担の増加
- 働き方改革による「チームとしての学校」の推進
- 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境
- 大学入試制度改革への対応
- 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実
- 学校の統廃合や施設の老朽化
- 教育の質の保証と学び機会の保障

社会教育・家庭教育

- 家庭の状況変化
- 社会全体での教育力の向上
- 地域コミュニティの変化
- 教育振興運動や生涯学習による地域コミュニティの維持向上
- 人生100年時代の到来
- 生涯にわたって学び続けられる環境づくり
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
- 文化芸術やスポーツの推進と地域への愛着の醸成



1 はじめに 趣旨・位置付け・計画期間

1 趣旨

平成21年度に策定した「岩手の教育振興」が平成30年度で終了することに伴い、新たな教育振興の指針となる「岩手県教育振興計画」を策定

2 位置付け

- 教育基本法第17条第2項に基づく本県教育の振興のための施策に関する基本的な計画
- 県民や企業などのあらゆる主体が方向性を共有する「いわて県民計画（2019～2028）」との整合性を図った計画

3 計画期間

2019年度～2023年度までの5年間



1

2 【第1章】岩手の教育をめぐる状況 歩みと社会変化

1 岩手の教育の歩み

- 平成18年の教育基本法の改正以降、社会全体での教育改革が進行
- 教育振興運動や「いわて教育の日」などの取組の推進
- 学習定着度状況調査による「わかる授業」の実践
- 県立美術館、県立図書館の整備等
- 「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」の開催
- 平泉の文化遺産や橋野鉄鉱山の世界遺産登録

2 社会状況の変化

- 人口減少・少子化・高齢化の進行
- 急速な技術革新やグローバル化の進展
- 子どもを取り巻く社会経済的な課題の表面化
- 地域間格差の拡大
- 東日本大震災津波からの復旧・復興



2

2 【第1章】岩手の教育をめぐる状況 現状と課題

3 岩手県の教育の現状と課題①

学校教育

- 子どもたちをめぐる課題
 - 授業力の向上や家庭学習の定着
 - 情報社会に主体的に対応する力の育成
 - 運動習慣の定着
 - 特別支援教育における発達段階に応じた支援や指導
 - いじめへの適切な対応
 - 問題行動等の未然防止、早期発見・適切な対応
- 教職員のスキルの継承と負担の増加
 - 働き方改革による「チームとしての学校」の推進
- 高校卒業後の進学や就職を取り巻く環境
 - 大学入試制度改革への対応
 - 地元定着の促進に向けたキャリア教育の充実
- 学校の統廃合や施設の老朽化
 - 教育の質の保証と学ぶ機会の保障



3

2 【第1章】岩手の教育をめぐる状況 現状と課題

3 岩手県の教育の現状と課題②

社会教育・家庭教育

- 家庭の状況変化
 - 社会全体での教育力の向上
- 地域コミュニティの変化
 - 教育振興運動や生涯学習による地域コミュニティの維持向上
- 人生100年時代の到来
 - 生涯にわたって学び続けられる環境づくり
- 文化芸術・スポーツへの関心の高まり
 - 文化芸術やスポーツの推進と地域への愛着の醸成



4

3 【第2章】目標・取組の視点 基本目標と目指す姿

基本目標

学びと絆で 夢と未来を拓き
社会を創造する人づくり



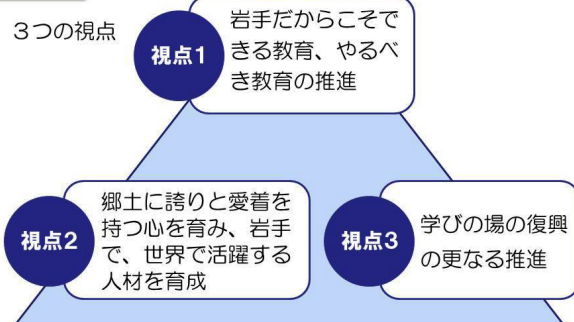
目指す姿

学校教育	社会教育・家庭教育
子どもたちが、地域とともにある学校において自ら生き生きと学び、夢を持ち、それぞれの人間形成と自己実現に向けて知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を身に付けています。	県民が、主体的・相互的に連携し、助け合うことにより、家庭の教育力の向上に努めるとともに、地域課題の解決に向けた取組や、文化芸術・スポーツ活動などへの参加により、生涯を通じて楽しく学び、生き生きと生活しています。

5

3 【第2章】目標・取組の視点 取組の視点

取組の視点



6

4 【第3章】具体的な施策の内容 2つの政策分野

学校教育	社会教育・家庭教育
1 岩手で、世界で活躍する人材の育成 2 確かな学力の育成 3 豊かな心の育成 4 健やかな体の育成 5 特別支援教育の推進 6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応 7 学びの基盤づくり 8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進 【8項目】	9 学校と家庭・地域との協働の推進 10 子育て支援や家庭教育支援の充実 11 生涯にわたり学び続ける環境づくり 12 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承 【4項目】

7

4 【第3章】具体的な施策の内容《参考》県民計画との関係①

いわて県民計画（2019～2028）	岩手県教育振興計画
幸福を守り、育てる10の政策分野	学校教育と社会教育・家庭教育の2つの政策分野
I 健康・余暇 5 生涯を通じて学び続けられる場づくり II 家族・子育て 6 安心して子どもを産み育てられる環境づくり 7 地域コミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもを教え、育む仕組みづくり	II 社会教育・家庭教育 11 生涯にわたり学び続ける環境づくり 10 子育て支援や家庭教育支援の充実 9 学校と家庭・地域との協働の推進

8

4 【第3章】具体的な施策の内容《参考》県民計画との関係②

いわて県民計画（2019～2028）	岩手県教育振興計画
Ⅲ 教育	I 学校教育
11【知育】児童生徒の確かな学力の育成	2 確かな学力の育成
12【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性の育成	3 豊かな心の育成
13【体育】児童生徒の健やかな体の育成	4 健やかな体の育成
14 共に学び、共に育つ特別支援教育の推進	5 特別支援教育の推進
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校づくり	6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質向上の推進	7 学びの基盤づくり
18 地域に貢献する人材の育成	8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進
	1 岩手で、世界で活躍する人材の育成

9

4 【第3章】具体的な施策の内容《参考》県民計画との関係③

いわて県民計画（2019～2028）	岩手県教育振興計画
Ⅳ 居住・コミュニティ	Ⅱ 社会教育・家庭教育
V 安全	
Ⅵ 仕事・収入	
Ⅶ 歴史・文化	12 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境づくり	
Ⅷ 自然環境	
Ⅸ 社会基盤	
X 参画	

10

4 【第3章】具体的な施策の内容 学校教育①

1 岩手で、世界で活躍する人材の育成

学校教育

復興教育の推進、地域に貢献する教育の推進、キャリア教育の推進、世界と岩手をつなぐ人材育成、イノベーションを創出する人材育成 等

2 確かな学力の育成

これからの社会で活躍する資質・能力の育成、児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実、生徒の進路実現の推進 等



11

4 【第3章】具体的な施策の内容 学校教育②

3 豊かな心の育成

学校教育

自他の生命を大切に、他者の人権を尊重する心の育成、体験活動等を通じた豊かな心の育成、学校における文化芸術教育の推進、社会に参画する力の育成 等

4 健やかな体の育成

豊かなスポーツライフに向けた学校教育の充実、適切な部活動体制の推進、健康教育の充実 等

5 特別支援教育の推進

就学前から卒業後までの一貫した支援の充実、特別支援教育の多様なニーズへの対応、県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進、教職員の専門性の向上 等

12

4 【第3章】具体的な施策の内容 学校教育③

6 いじめ問題・不登校対策等への確かな対応

学校教育

いじめ防止対策の推進、いじめ事案への適切な対応、不登校対策の推進、健全育成に向けた対策、組織的な相談体制の充実 等

7 学びの基盤づくり

安心して学べる環境づくり、目標達成型学校経営、新たな県立高等学校再編計画の推進、多様なニーズへの対応、教職員の確保・育成、教職員の働き方改革 等

8 多様なニーズに応じた私立学校教育の推進

特色ある教育活動の支援、社会に貢献する人材の育成、教育環境の整備促進 等

13

4 【第3章】具体的な施策の内容 社会教育・家庭教育①

9 学校と家庭・地域との協働の推進

社会教育・家庭教育

学校・家庭・地域が連携する仕組みづくり、多様な体験活動の充実、地域学校協働活動の推進 等

10 子育て支援や家庭教育支援の充実

子育てや家庭教育に関する学習活動支援、電話やメール等による相談体制の充実、子育て支援グループのネットワークづくり 等



14

4 【第3章】具体的な施策の内容 社会教育・家庭教育②

11 生涯にわたり学び続ける環境づくり

社会教育・家庭教育

多様な学習機会の充実、学びと活動の循環による地域の活性化、社会教育の中核を担う人材の養成・確保と研修の充実 等

12 次世代につなげる郷土芸能や文化財の継承

学校における特別活動や文化部活動による郷土芸能の継承、文化財の適切な保存と継承 等



15

4 【第3章】具体的な施策の内容 取組の評価と連携

PDCAサイクルによる評価

「いわて県民計画（2019～2028）」で掲げる「いわて幸福関連指標」及び「具体的な推進方策指標」による評価を踏まえ、「岩手県教育振興計画」に基づく取組等の検証・見直しを毎年度実施



市町村教育委員会等との連携

「岩手県教育振興計画」の基本目標や目指す姿を実現するためには、学校、家庭、地域の連携・協働が重要であり、県と市町村教育委員会がより積極的に連携した取組を推進



16